

I 目指す学校

1 教育目標

- (1) 自主・協調の精神を養う
- (2) 知性を高め、体力の向上を図る
- (3) 豊かな心を培う

2 目指す学校像

(1) スクール・ミッション

多様な選択科目や一人一人の進路希望に則した丁寧な指導を通じて、自ら進んで学び、体力の向上を図ることのできる生徒、学校行事を含めた日々の生活の中で、自主性や協調性の精神を養うとともに、他者の気持ちに寄り添うことのできる豊かな心をもった生徒を育成します。

(2) スクール・ポリシー

① グラデュエーション・ポリシー

※すべての教育活動を通して、次の3つの能力の伸長と獲得を目指します。

- 自分の長所・短所を理解し、よりよい人生を生きようと前向きに努力する力
- 何事にもあきらめずに、分析や考察を行い、柔軟な思考で課題解決に向き合うことのできる力
- 社会人としてのルールやマナーを遵守し、周囲に誠実に向き合える力

② カリキュラム・ポリシー

- 基礎学力の確実な定着を図り、多様な選択科目から、自らの進路や興味関心に応じて学びを深めることで、生徒一人一人の進路の実現を目指す。
- 体力の向上、感性の高まり、実生活の課題解決力を育み、未来を生き抜く力を目指す。

③ アドミッション・ポリシー

- 本校への入学を強く希望し、日々の学習に真剣に取り組む、学力向上を目指し、常に努力を惜しまない生徒
- 中学校において、生徒会活動や部活動、その他学校内外の活動等に積極的に取り組んできた生徒で、入学後も継続して活動する意志のある生徒

II 中期目標と方策

1 生徒の学力向上と大学合格実績の増加

生徒の学力を高め、志望する大学への合格実績を向上させる一環として、デジタル技術を活用した教育の研究を行う。また、学期中及び長期休業日中の補習、補講を充実させる。さらに、教員の授業力を向上させるために、教員相互の授業参観や校内悉皆研修、学校評価等を活用する。

2 生徒の進路希望を実現する進路指導の実践

生徒の進路希望を実現するために、三年間の展望を見通した系統的な進路計画を策定し、進路情報や指導内容の共有化を図った組織的な指導体制を構築する。また、保護者対象の講演会や保護者会、三者面談等の実施等、家庭と一体となった進路指導を推進する。

3 基本的な生活習慣と規範意識の涵養

生徒の基本的な生活習慣と規範意識を涵養するために、校内で共通した指導内容による組織的な生活指導を実践する。特に、挨拶の励行、頭髪や服装等の身だしなみ、遅刻防止指導の徹底等、社会的なマナーの育成を重視する。併せて、教職員による日常の生徒の状況把握や情報の共有化によるいじめ防止、自殺防止に向けた生命尊重の精神や態度の育成、情報モラルの育成及びよりよい生徒同士の人間関係の形成を図る。

4 自主性や協調性、責任感を高める特別活動及び部活動

生徒会活動や学校行事、委員会活動、部活動等は、教員の組織的な支援体制により生徒に成功体験を得させ、自主性や協調性を育成する。また、日野市教育委員会、近隣小・中学校や特別支援学校との研究活動や交流活動を積極的に推進する。

5 体力づくりと健康・安全教育の充実による健康の保持増進

地域や関係機関と連携した防災教育、交通安全指導を推進する。また、「体力テスト」の結果に基づいた体力向上に向けた取組を推進する。さらに、スクールカウンセラーとの連携による相談体制を充実させる。

6 広報・募集活動の推進

総務部を中心とした組織的な広報活動や募集対策を推進する。とりわけ、ホームページの工夫により外部に充実した情報発信を積極的に行う。また、近隣の中学校や関係団体が主催する進学説明会へ積極的に参加するとともに、長期休業日や平日の学校見学会を充実させる。

7 地域との連携を深める取組

地域行事等への参加や地域の清掃活動等のボランティア活動を推進する。

8 学校経営・組織体制の活性化

教員のライフワーク・バランスの実現のために、効率的な業務の推進に努める。また、学校評価を活かして、教育課題に対応した適正な予算編成及び執行を行う。さらに、改築を機に今後の本校の在り方を検討していく。

Ⅲ 今年度の取組目標と方策

1 「学習指導」

(1) スマート・スクール端末の活用と観点別評価の研究

生徒が各自の端末を活用して効率的な学習が進められるよう、各教科単位で端末の活用方法について研究を行うとともに、観点別評価についても研究を深める。

(2) 大学入試改革への対応としての英検指導

大学入試改革への対応の一環として、実用英語技能検定試験準2級以上の合格者を増加させる。

(3) 新学習指導要領の研究と校内研修の実施

教員相互の授業参観、若手教員や中堅教員研修の公開授業を活かした計画的な各教科ごとの研修及び学校全体での校内研修を実施し、新学習指導要領について理解を深め、指導法の工夫、改善に取り組む。

2 「進路指導」

(1) 補習・補講の実施

各学年が主体となり、平日や土曜日、長期休業期間中の進路対策や学習が遅れがちな生徒を対象にした補習・補講を組織的・計画的に実施する。

(2) 組織的、系統的な進路指導

進路希望の実現に向け、情報を共有して組織的な指導と、「進路の手引き」を活用した系統的な進路計画に基づいた指導を推進する。

(3) 大学入試改革への対応

大学入学共通テストをはじめとした大学入試の動向を分析し、大学入試改革に向けた対応の充実を図る。

(4) 高い目標への挑戦意欲の育成

進路適性を的確に判断するために、定期考査や模擬試験の結果を分析して、データに基づいた指導を実践する。

(5) 保護者との情報の共有

保護者会や進路啓発講話、三者面談の実施により、保護者との情報の共有化を図り、家庭と連携を深めた指導を推進する。

(6) 体験的学習と進路講話

生徒が適切な進路選択が行えるよう体験的学習（上級学校訪問や大学等の体験授業、職場体験等）や大学教員や学生、企業等の講師による進路講話等を実施する。

3 「生活指導」

(1) ルールやマナー及び情報モラルを遵守する指導

本校の生徒指導方針に基づき、指導内容の共通理解を図り、授業や集会等あらゆる場面で時間を意識した行動を徹底させ、授業や集会における規律、ルールやマナーを遵守する指導を組織的に行う。また、家庭とも連携して携帯電話や端末を適切に使用するための情報モラルの育成を図る

(2) 身だしなみの指導

頭髪や服装などの身だしなみについて、統一した基準で年間を通して計画的、継続的に指導する。

(3) 遅刻防止及び盗難防止指導

遅刻防止指導を推進する。また、スクールサポーターの巡回など外部機関との連携を進め、盗難防止指導を徹底する。

(4) いじめや自殺防止の対応

いじめや自殺防止に関する情報の共有化を図るとともに、アンケートを活用し早期発見に努める。いじめ等が発生した場合は、学校いじめ対策委員会など、組織として素早く対応し解決を図る。

4 「特別活動・部活動」

(1) 特別活動の充実

生徒の意欲的な取組を支援し、体育祭、文化祭、合唱祭の学校行事や修学旅行等の学年行事、生徒会活動、委員会活動を充実させる。

(2) 部活動の充実

部活動の加入を奨励し、「Sport-Science Promotion Club」としての取組を基盤として、運動部・文化部ともに充実を図る。

(3) 近隣関係学校との交流

日野市内中学校を主に対象とした「日野カップ」を実施するとともに、部活動や生徒会活動における近隣小・中学校や特別支援学校との交流活動を充実させる。

5 「体力向上と健康づくり」

(1) 体力テストを活用した体力向上

体力テストの結果を活用した、体力向上に向けた取組を推進する。体力向上の取組は、学校2020オリンピック・レガシーとしていく。

(2) 健康・安全に留意した実践的な態度の育成

避難訓練や健康講話、交通安全教室の実施により、生涯に渡って主体的に健康・安全に留意した生活習慣を身に付け、日常生活で実践できるようにする。

(3) 校内美化の徹底

リサイクルの徹底やゴミの分別、持ち帰り、全校美化週間の設定により、学校生活における環境を整理・整頓し、校内美化の徹底を図る。

6 「広報・募集活動」

(1) 学校ホームページと日野高ニュース

学校ホームページの内容を充実させるために、ホームページ内の日野高ニュースで、学習や行事の様子、部活動の成果を積極的に情報発信する。

(2) 本校への志願者を増やす取組

出張説明会、部活動体験、中学校への出前授業、学習塾訪問を計画的、効果的に実施し、文化祭や学校説明会への来校者を増やす取組の充実を図る。

7 「地域連携」

(1) 地域と連携した研究活動や近隣清掃

日野市教育委員会や地域の小・中学校と連携した研究活動を推進する。また、通学路などの近隣の清掃を学期に1回実施し、地域に奉仕する。

(2) 地域行事や関係学校行事への参加

部活動や生徒会による、地域行事や地域の小・中学校、特別支援学校の行事への参加を進める。

8 「学校経営・組織体制」

(1) 服務事故の防止

教職員による生徒に対する暴力や暴言等の未然防止、個人情報保護や流失防止、生徒の答案の誤廃棄など、分掌や学年、教科が組織的に対応して、服務事故防止の徹底を図る。

(2) 業務縮減及び働き方改革に向けた取組

委員会等組織の見直しや会議の効率化など、業務縮減に向けた取組を推進する。また、面接等を通して、勤務状況を確認するとともに、有給休暇や男性職員の育休等の取得を進め、メリハリをつけた働き方を推進する。

(3) 特別支援教育の推進

関係機関や近隣の特別支援学校との情報の共有化の連携を深め、組織的な特別支援教育を推進する。

(4) 経営企画室、その他

教育職員と連携した教育活動などとおして経営企画室の経営参画力向上を図る。予算編成、執行等ではセンター執行率を増加させるなどコスト管理を進める。

改築期間を通して生徒、教職員の安全・安心な学校生活の確保へ、施設・設備の警備・点検・整備を日々徹底する。

IV 今年度の重点数値目標（下記の数値は、令和3年度の実績数値である。令和4年度はその数値を超えることを目標とする。）

1 生徒募集

- (1) 入選中進対倍率 1.05倍 (2) 入選推薦募集倍率 2.48倍
(3) 入選一次募集倍率 1.29倍

2 大学等進学実績

- (1) (GMARCH) 現役合格者数 18名 (2) (成成明武) 現役合格者数 7名
(3) (日東駒専) 現役合格者数 64名
(4) 進路決定率 98%

3 学校生活満足度

- (1) 生徒の満足度
○「学習指導」64% ○「入学して良かった（総合）」77%
(2) 保護者の満足度
○「学習指導」67% ○「入学させて良かった（総合）」91%

4 授業外学習支援

- (1) 実用英語技能検定準2級以上合格者数 80名以上
(2) 長期休業中の補習・補講時間 延べ 300時間以上

5 部活動

- 部活動加入率 87%
部活動満足度 70%